

令和8年度（化学基礎）シラバス

教 科	理科	科 目	化学基礎		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共通
教 科 書	改訂版 高等学校 化学基礎(数研出版)		副教材	ゼミナール化学基礎（浜島書店）	
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1編 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	・物質の成り立ちや、原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。 ・物質の構成粒子や、化学結合と物質の性質との関係を理解させ、物質について微視的な見方ができるようにする。
2 学期	第2編 物質の変化 第1章 物質量と 化学反応式 第2章 酸と塩基の反応	・物質量、化学反応式を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ・化学反応の量的関係、酸と塩基の反応について観察、実験などを通して探究し、化学反応に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。
3 学期	第3章 酸化還元反応	・酸化還元反応について観察、実験などを通して探究し、化学反応に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	日常生活との関連を図りながら、物質や物質を構成する原子についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。また、実験などに関する基本操作や技能を身に付けている。	・定期考査 ・確認テスト ・提出物 ・観察・実験の記録
思考・判断・表現	観察、実験などを通して物質量と化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応など、物質とその変化に気づき、表現することができる。また、得られた結果を分析して解釈し、科学的に探究している。	・定期考査 ・確認テスト ・発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、積極的に議論したり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探求できる。また、ワークシートのグラフの作成方法を理解している。観察、実験の際には、意欲的に活動できている。	・授業に取り組む態度 ・観察・実験における取組 ・課題等の提出 ・自己評価